

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公開番号】特開2009-260613(P2009-260613A)

【公開日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-044

【出願番号】特願2008-106726(P2008-106726)

【国際特許分類】

H 04 N 5/91 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/91 J

H 04 N 5/225 F

H 04 N 5/91 Z

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月18日(2011.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体を撮像する撮像手段と、

複数の撮影モードのうち何れかの撮影モードに設定する設定手段と、

撮影関連情報を、前記設定手段で設定された撮影モードに応じた形態で、前記撮像手段で撮像した画像に合成するように制御する制御手段と

を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記制御手段は、前記撮影関連情報を、前記設定手段で設定された撮影モードに応じた色で合成するように制御することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記設定手段で設定された撮影モードが白黒モードの場合には、前記撮影関連情報の色を白又は黒又はグレーで合成するように制御することを特徴とする請求項2に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記設定手段で設定された撮影モードが特定色を残すモードの場合には、前記撮影関連情報の色を白又は黒又はグレーとするか、或いは、前記特定色とすることを特徴とする請求項2または3に記載の撮像装置。

【請求項5】

前記制御手段は、前記撮影関連情報を、前記設定手段で設定された撮影モードに応じてエッジをぼかして合成するように制御することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項6】

前記制御手段は、前記撮影関連情報を、文字として前記撮像手段に撮像した画像に合成するように制御することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記撮影関連情報を、前記設定手段で設定された撮影モードに応じたフォントで合成するように制御することを特徴とする請求項 6 に記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記撮影関連情報は、撮影日付、撮影日時、撮影場所、被写体、撮影者、前記画像の分類のうち少なくとも 1 つの情報であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 9】

前記撮影関連情報を、前記設定手段で設定された撮影モードに応じた、前記制御手段が合成する際の形態で、前記撮像手段で撮像されているスルー画像に重畠して表示するよう制御する表示制御手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 10】

前記撮影関連情報を強調して合成するか否かを設定する強調設定手段を更に有し、前記制御手段は、前記撮影関連情報を、前記設定手段で設定された撮影モードと、前記強調設定手段での設定とに応じた形態で合成するよう制御することを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 11】

被写体を撮像する撮像手段と、時刻設定を世界時計モードに設定する設定手段と、撮影関連情報を、前記設定手段で前記世界時計モードが設定されているか否かに応じた形態で、前記撮像手段で撮像した画像に合成するよう制御する制御手段とを有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 12】

前記撮影関連情報は、撮影の日付あるいは場所の少なくとも一方の情報であることを特徴とする請求項 1 1 に記載の撮像装置。

【請求項 13】

被写体を撮像する撮像ステップと、複数の撮影モードのうち何れかの撮影モードに設定する設定ステップと、撮影関連情報を、前記設定ステップで設定された撮影モードに応じた形態で、前記撮像ステップで撮像した画像に合成するよう制御する制御ステップとを有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 14】

被写体を撮像する撮像ステップと、時刻設定を世界時計モードに設定する設定ステップと、撮影関連情報を、前記設定ステップで前記世界時計モードが設定されているか否かに応じた形態で、前記撮像ステップで撮像した画像に合成するよう制御する制御ステップとを有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 15】

コンピュータを、請求項 1 乃至 1 2 のいずれか 1 項に記載された撮像装置の各手段として機能させるプログラム。

【請求項 16】

コンピュータを、請求項 1 乃至 1 2 のいずれか 1 項に記載された撮像装置の各手段として機能させるプログラムを格納したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の目的は、撮影モードに応じた良質な形態で撮影関連情報を合成した画像を得られる撮像装置、撮像装置の制御方法、プログラム及び記憶媒体を提供することにある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、請求項1記載の撮像装置は、被写体を撮像する撮像手段と、複数の撮影モードのうち何れかの撮影モードに設定する設定手段と、撮影関連情報を、前記設定手段で設定された撮影モードに応じた形態で、前記撮像手段で撮像した画像に合成するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明によれば、撮影モードに応じた良質な形態で撮影関連情報を合成した画像を得ることができる。